

書窓

Shoso

No.372

2016.3

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鶴

1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

子どもの本だな 29

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

ウルスリのすず

ゼリーナ・ヘンツ 文 アイロス・カリジェ 絵

大塚 勇三 訳 (岩波書店)

アルプスの麓に小さな男の子、ウルスリがお父さんお母さんと住んでいます。春の訪れを祝う鈴祭りが近づき、子どもたちは大きな鈴を手に入れようと競い合います。大きい鈴を持つ子は祭りの行列の先頭を歩き、お菓子や木の実、肉などを鈴いっぱいに入れてもらうのです。ところがウルスリが手に入れたのは一番小さい鈴。ウルスリは夏の山小屋に大きな鈴があったことを思い出し、雪の残る山を登って行きました。やっとたどり着いた山小屋には大きな鈴がありました。

高い山の麓の家の壁の絵、険しい山道にかかる細い橋、雪の積もる山腹、夜には星々が近く光り、けものたちが現れます。美しい絵に描かれた異国の暮らしぶりの中で、子どもたちはウルスリの気持ちになり、両親の心配も感じつつ、最後にはおいしそうなおごちそうに満足して終わります。読んでもらえば

4歳から楽しめます。

(西村)

三月ひなのつき

石井 桃子 さく 朝倉 撰 え (福音館書店)

十歳のよし子は、お父さんを亡くしお母さんと二人暮らしです。お母さんは子どもの頃、木彫りの寧楽びなを持っていました。漆塗りの箱に、道具や雛壇とともに納められた優しい顔のおひな様をお母さんは大切にしていたのですが、戦争で焼けてしまいました。

二月、よし子は、商店街で一組のおひな様をみつけますが、お母さんは金ぴかで安っぽいと取り合わず、大きなデパートにもお母さんの寧楽びなほどに気に入る人形は見つかりませんでした。けれども数日後、お母さんは、よし子が床に入ってから遅くまで何かしているようでした。そして三月三日、学校から帰ったよし子が奥の六畳間で見つけたのは、五段に並んだ折り紙のおひな様と木彫りの立ちびなだったのです。

自分のひな人形がほしいと願う少女と娘の思いをかなえてやりたいと心を砕く母親との会話が細やかに描かれ、丁寧な挿絵とともに温かい印象を残します。九歳位から。

(片木)

3月	4月	3・4月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
10日	7日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
17日	14日	岩見構下 公民館 10:30~10:50	岩見構上 公会堂 11:00~11:20	原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
24日	21日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		吉福 公民館 15:30~15:50	太子 ニュータウン 公民館 16:00~16:30

お知らせ

毎週土曜日に

「おはなしの時間」

を開いています。

4歳~2年生 11:00~

3年生~中3 11:30~

3月のおはなしは、「ふしぎ

なはいのう」「こぶじいさま」

「梅の木村のおならじいさん」などを予定しています。

詳しくはプログラムをご覧ください。

『メディアにむしばまれる子どもたち』 田澤 雄作 著

教文館 200頁 2015年9月刊 1,300円 (請求記号) 493.9

テレビやゲーム、パソコン、スマートフォンなど多様な電子メディアが溢れる今、子どもたちに深刻な問題が起きている。頭痛、腹痛、慢性疲労、うつ状態、睡眠障害…。五十年近く、子供たちを見てきた小児科医の著者は、年々増えていく病因不明な症状で苦しむ子供たちの背景に、日常生活に蔓延している電子メディアが深く関わっていることをつきとめた。大人には便利な電子メディアが、子供には「心身の成長発達を脅しかねない前代未聞の問題」なのだ。

テレビやゲームを気軽に子どもに与える親は多い。長時間メディアにさらされると、脳の中の、考え、集中し、想像する前頭葉の活動は鈍くなる。子どもは、長時間のメディア視聴の結果、成長に必要な現実体験が著しく不足し、自己を抑制することができない幼いままの心を抱えて思春期を迎える。結果として、ムカついてキレるなど、暴力や残酷ないじめといった問題行動を起こすことになる。今問題になっている様々な社会的現象や、反社会的事件の背景にあるのは、「幼いままの心」で「大人になれない子供」の問題である。

ケータイ、スマホ、テレビを見ながらの「ながら授乳」も増えている。赤ちゃんはお母さんとまなざしを交わすコミュニケーションをとり、親子の絆がもたらす安心感を得ている。家庭でメディアの映像を繰り返して見せられている赤ちゃんは、笑顔を失い、泣かない、視線が合わない、おとなしい「サイレント・ベビー」になる危険がある。

現代の日常生活にごく普通にある電子メディアが、これほどまでに子どもたちを蝕んでいる現実言葉に言葉を失う。子どもを持つ親はもちろん、子どもにかかわるすべての大人は読まなくてはならない本だ。親子がまなざしをかわし、笑顔と言葉のみちた生活を送ってほしいと願わずにはいられない。

(池之上)

3月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		×	2	3	4	5
6	×	×	9	10	11	12
13	14	×	16	17	18	19
20	×	×	23	24	25	26
27	28	×	30	×		

4月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	×	×	6	7	8	9
10	11	×	13	14	15	16
17	×	×	20	21	22	23
24	25	×	27	28	29	30

<日曜日の絵本の時間>

3月20日

時間：11時から

場所：おはなしの部屋

対象：2～3歳

保護者の方も入れます

カレンダーの×印は休館日です。

開館は10時～18時。

金曜日は20時まで

開館しています。

地下水

2月14日、図書館で科学講座その1「砂鉄であそぼう」を開催した。

子どもたちは、外のテラスで砂鉄集めをしたり、砂鉄の粒で「どろんこハリー」の絵を描いたり、お土産ももらって嬉しそうだった。

6年生のNちゃんは、家に帰って砂鉄絵の続きをしたが、家じゅうが砂鉄まみれに。ポリ袋をかぶせた磁石で、こぼれた砂鉄を「掃除」したのも楽しかったらしい。

大人の方からは、昔話「やまたのおろち」が砂鉄に関係していたり、現在の地名や地形が昔の砂鉄採集と結びついていること、砂鉄の種類によって作られる物が違うという話がとても興味深かったという声があった。

3月6日には、科学講座その2「宇宙のふしぎ・星のひみつ」を開催する。星や生命の誕生から現在までの長い歴史をやさしく語っていただく予定だが、空間的にも時間的にも壮大な宇宙の話はどんな話になるのか、今からワクワクしている。

重力波の発見が最近の大ニュースだが、日々、新しい発見に満ちた科学の世界はとても刺激的だ。

(池田)

